

最近の消費生活相談状況

奈良県消費生活センター（H27. 2. 10）

●高齢者トラブルの増加

年 度	H22	H23	H24	H25	H26年 9月まで
全件数	5,357	5,070	4,458	4,747	2,432
70歳以上の件数・割合	729 (13.6%)	728 (14.4%)	763 (17.1%)	1,079 (22.7%)	447 (18.3%)

※70歳以上の高齢者に関する相談割合が年々上昇傾向にあるが、H26年度上半期は前年度同期に比べて減少。（高齢者に多かった健康食品の送り付けの相談が減少したことによる）

※販売形態別（H25年度 4,747件）

- ・訪問販売(451件)のうち70歳以上は 36.4%(164件)
- ・電話勧誘(524件)のうち70歳以上は 57.3%(300件)

●主な金融商品に関する相談

年 度	H22	H23	H24	H25	H26年 9月まで
未公開株	43	36	24	17	4
社債	46	77	41	34	17
その他（ファンド型） （和牛契約除く）	22	64	60	59	27

※ファンド型投資

（老人ホーム入居権、コンテナファンド、磁気治療器リース事業投資、海外エコ商品投資など）

※多くは複数の業者・人物が登場する劇場型勧誘。最近は過去の投資被害を取り戻す二次被害が多い。

●貴金属等の買い取りサービス（訪問購入）

年 度	H22	H23	H24	H25	H26年 9月まで
貴金属等の訪問買取	21	21	14	45	9

※H24. 8月特商法改正「訪問購入」が追加。H25. 2月施行。

● 出会い系サイト（サクラサイト商法含む）

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26年 9月まで
出会い系サイト	214	124	140	98	44	26

※異性だけでなく、タレント、社長、占い師等になりすまして出会い系サイトに誘導。

● 多重債務に関する相談

年 度	H22	H23	H24年	H25	H26年 9月まで
多重債務	164	118	83	79	54

※H19年度（274件）をピークに減少傾向。

● 新聞購読契約に関する相談

年 度	H22	H23	H24	H25	H26年 9月まで
新聞購読契約	146	133	116	114	56

※商品別相談件数では、毎年上位。

訪問販売のトラブルの20%以上を占める。

- ・長期契約、過剰景品と絡んで解約時のトラブルが多い。
- ・強引な勧誘、契約者死亡、転居時の解約拒否
- ・契約書（不交付、記載不備）
- ・「新聞購読契約に関するガイドライン」の徹底（H25. 11. 21）【新聞公正取引協議会】